

1 海の道むなかた館の概要

1) 建設から現在に至る経緯

- ・ 宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、玄海文化センター「アクシス玄海」という多目的な文化施設を改修することで生まれ変わった施設である。
- ・ アクシス玄海は、平成4年に観光物産館・文化施設として開館。宗像大社辺津宮に隣接し、多くの集客があった。平成10年には、観光物産館を改装し、地産地消をモットーに地元の魚介類や農産物の直売所として集客を誇った。その後、平成20年に道の駅むなかたのオープンによって物産館の機能が移転され、アクシス玄海の機能は、文化ホール、図書館、会議室、文化財の整理室として継続されることとなった。また、管理主体は、開館以来、旧玄海町及び宗像市の直営であったが、平成18年4月から平成23年3月までは地元の田島地区コミュニティ運営協議会（当時）が管理運営に携わっていた。
- ・ 平成22年7月、宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画を策定し、その2年後の平成24年4月28日、海の道むなかた館が開館する運びとなった。
- ・ 平成29年7月、ポーランドで開かれた世界遺産委員会において、『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』が世界文化遺産に登録決定した際には、当館でパブリックビューイングを実施。約400人が参加し、歓喜に沸いた。
- ・ 平成31年2月、入館者数が100万人を突破した。
- ・ 平成31年4月、市の機構改革により館の運営及び事業の推進を担う部署が、それまでの郷土文化課から世界遺産課及び文化財課の2課体制となる。
- ・ 令和3年4月、世界遺産課と文化財課を統合し、現行の世界遺産課、1課（2係）体制となる。

2) 開館時間

● 開館時間

9時～18時

● 休館日 ※臨時で休館又は開館する場合あり

- ・ 月曜日（月曜日が祝日・振替休日にあたる場合は、その翌平日）
- ・ 12月29日～翌年1月3日まで

● 入館料

無料（特別展示等において有料の場合あり）

3) 館の施設概要

郷土文化学習交流館（海の道むなかた館）		
施設名	面 積	摘 要
【1階本館】		
風除室	33 m ²	ホールへの外気進入防止のための空間
世界遺産課事務室	70 m ²	総合案内、保存係及び活用係事務室
ホール	397 m ²	ショップ「宗像蒼の社」、世界遺産ガイダンス展示
ロッカー室	10 m ²	来館者用ロッカー
常設展示室	386 m ²	宗像の歴史展示、世界遺産関係展示等に使用
重要文化財展示室	53 m ²	田熊石畑遺跡出土青銅器等の重要文化財の展示や企画展に使用
荷解室	25 m ²	収蔵品や借用展示品の梱包や荷解きに使用
前室	14 m ²	収蔵品や借用展示品を展示室の環境に慣らすために使用
重要文化財収蔵庫	25 m ²	重要文化財等の収蔵に使用
3Dシアター	33 m ²	沖ノ島紹介3D映像の上映及びVR利用に使用
ボンベ室	8 m ²	重要文化財展示室及び収蔵庫の消火設備
体験学習室	244 m ²	宗像地域の自然、歴史、文化に関する体験学習等の実施に使用
土器復元室	42 m ²	埋蔵文化財復元作業等に使用
倉庫	25 m ²	体験学習に用いる道具・材料等の収納に使用
トイレ	77 m ²	男女トイレ、多目的トイレ
【1階西館】		
宗像市民図書館深田分館	423 m ²	郷土の歴史、自然、文化等関係書籍を中心とした市民図書館
第2展示室	110 m ²	各種展示等に使用
講義室	134 m ²	各種講座等の開催に使用
館長室	33 m ²	館長室
事務室	50 m ²	事務室
清掃員控室	15 m ²	清掃員の控室及び休憩室
埋蔵文化財整理室	100 m ²	文化財整理作業に使用
文化財課事務室	59 m ²	文化財係事務室
授乳室	3 m ²	授乳室
トイレ	40 m ²	男女トイレ
【2階】		
図書整理室	96 m ²	図書整理室
図書準備室	69 m ²	図書準備室
ボランティア控室	28 m ²	地域学芸員の会及び宗像歴史観光ボランティアの会事務局の活動に使用
埋蔵文化財関係書庫	69 m ²	酒井文庫、文化財報告書等を収蔵
郷土資料関係書庫	31 m ²	市史編さん関係資料等を収蔵
【地階】		
収蔵庫	367 m ²	文化財調査出土品等を収蔵
収蔵庫	41 m ²	文化財調査出土品等を収蔵
機械室	25 m ²	ホール用空調設備機器を設置
倉庫	10 m ²	文化財関係書類等の保管に使用
収蔵庫	17 m ²	文化財調査出土品等を収蔵

4) 宗像市郷土文化学習交流館建物概要

所在地	福岡県宗像市深田 5 8 8 番地
階数構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨構造 地上 3 階 地下 1 階
敷地面積	11,082.02 m ²
用途地域	準都市計画区域内（平成 24 年 4 月 1 日現在）
既存建物床面積	3,973.26 m ²
既存建物建築面積	2,934.38 m ²
既存建物竣工	平成 4 年 3 月 3 1 日
現建物床面積	3,901.42 m ²
現建築面積	2,978.85 m ²

2 各種計画等における海の道むなかた館の位置づけ

○ 宗像市文化芸術のまちづくり 10 年ビジョン（平成 21 年）

- ・基本目標④として「歴史文化資源を保存・活用・継承します」を掲げ、その中の重点プロジェクトとして、「地域学芸員の養成」を位置付けている。

【現状と課題（一部抜粋）】

海の道むなかた館の来訪者は、ボランティアガイドを務める地域学芸員との交流のなかで、その地の歴史文化への理解を深め魅力を発見している。地域学芸員は来訪者対応の側面からも大切な役割を担っており、世界遺産登録後はますます活躍の場の増加が見込まれる。

【プロジェクトの目的・内容】

地域学芸員は、市民からの募集により、地域学芸員養成のための講座を受講しており、海の道むなかた館等の展示企画、運営、歴史観光案内などの役割を担う。海の道むなかた館の活用では、市民協働による活動の中心となる地域学芸員の資質向上を図る。

○ 宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画（平成 22 年）

- ・理 念：

（１）『歴史文化の継承』のための中核施設

当施設は、宗像地域全体に点在する多彩な自然や文化遺産の魅力を掘り起こし、結ぶことで、さまざまな活動を展開する『歴史文化の継承』のための中核施設とする。

（２）市民と協働し、連携する地域還元型の施設

- ・当施設は、『学びを通じた郷土・人づくり』『歴史文化遺産の多面的活用と情報発信』『世界遺産・宗像遺産ガイダンスの実施』の 3 つの柱を基盤とする。

- ・ 活動は、市民と協働し、団体や事業者とも連携。その成果を地域の暮らしや事業に活かす地域還元型の施設を目指す。

○ **宗像市郷土文化学習交流館条例（平成 23 年）**

- ・ 設置目的：地域の文化的資源である歴史、民俗、自然等に関する資料(以下「資料」という。)を収集し、保管し、調査研究の成果を集積し、及び展示してその教育的活用を図り、もって市民の教育、学術及び文化の振興に寄与する。

○ **世界遺産一覧表への記載推薦書・包括的保存管理計画（平成 28 年）**

- ・ 沖ノ島は、原則非公開のため、沖ノ島出土遺物を収蔵、展示する「宗像大社神宝館」や沖ノ島の 3D 映像を展示する「海の道むなかた館」をはじめとする展示、解説施設で価値を解説している。

○ **宗像市文化財保存活用地域計画（令和 3 年）**

（４）歴史拠点施設の機能強化と地域とのネットワーク形成

海の道むなかた館では、歴史拠点施設としての機能強化に取組み、訪れた市民や観光客が関連施設や地域を周遊できるよう海の道むなかた館と地域とのネットワーク形成に努めると共に、既存施設も含めて総合的な世界遺産ガイダンス施設の機能や整備について検討します。

○ **宗像市第 3 次総合計画（令和 7 年）**

- ・ 海の道むなかた館の年間来館者数

中間目標（R11 年度）：130,000 人 最終目標（R16 年度）：140,000 人

3 世界遺産の構成資産及びガイダンス施設の来訪状況

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 構成資産・ガイダンス施設への来訪状況

（単位：人）

	登録 1 年目 H29. 7-30. 6	登録 2 年目 H30. 7-R1. 6	登録 3 年目 R1. 7-R2. 6	登録 4 年目 R2. 7-R3. 6	登録 5 年目 R3. 7-R4. 6	登録 6 年目 R4. 7-R5. 6	登録 7 年目 R5. 7-R6. 6
宗 像 大 社 辺 津 宮	1,005,174	865,820	763,222	609,762	636,857	715,707	737,268
宗 像 大 社 中 津 宮	42,840	33,991	22,115	21,617	29,490	37,774	39,881
沖 津 宮 遙 拝 所	49,883	30,797	21,981	17,594	21,781	41,220	48,794
新 原 ・ 奴 山 古 墳 群	22,825	19,885	15,790	14,146	15,624	23,039	29,769
（構成資産 計）	1,120,722	950,493	823,108	663,119	703,752	817,740	855,712
海 の 道 む な か た 館	183,415	148,070	112,584	82,093	92,657	113,315	126,867
宗 像 大 社 神 宝 館	101,173	69,607	30,634	19,095	20,927	29,037	34,760
大 島 交 流 館	29,415	25,474	15,873	15,605	14,754	16,510	18,478
福 津 市 複 合 文 化 セ ン タ ー （ カ メ リ ア ス テ ー ジ ）	118,353	124,103	99,058	91,972	90,981	116,298	122,293
（ガイダンス施設 計）	432,356	367,254	258,149	208,765	219,319	275,160	302,398
（合 計）	1,553,078	1,317,747	1,081,257	871,884	923,071	1,092,900	1,158,110

4 来館者動向調査結果

○ 目的

課題として見学ルート（動線）がバラバラで、分かりやすい解説が実現できていないことが指摘されている。そのことを裏付けること、そして新しい動線計画立案のために来館者動向調査を実施した。

○ 期間とサンプル数

- ・ 期 間：2025 年 4 月～6 月
- ・ サンプル数：100

○ 結果

・ 【見学ルートはバラバラ】

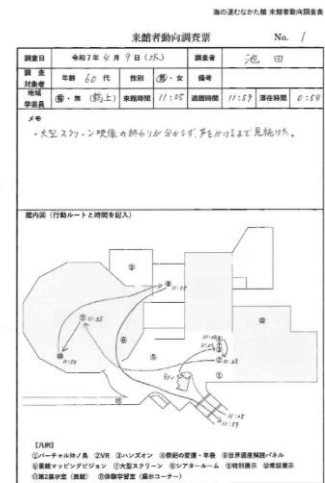
エントランスウォールの通り抜け側をはじめ、各コンテンツの体験順を見ても、見学ルートが確定されていないことから、各々が自由な順路で見学していることが分かる。

・ 【展示室の存在に気が付かない人も】

展示室に入室しない人が 1 割程度存在する。また地域学芸員に声をかけられ、はじめて展示室の存在に気づいた来館者も存在した。

・ 【地域学芸員による解説を受けた人は 4 割】

海の道むなかた館のコンテンツについては、地域学芸員による解説を前提とし、各コンテンツの細かな解説を設置していないものの、地域学芸員による解説を求めた来館者は全体の 4 割に留まることやインバウンドへの対応が難しいことから、各コンテンツに対する丁寧で分かりやすい解説が必要。



調査シート

調査結果まとめ

調査数	100
-----	-----

年代	人数
20代	9
30代	22
40代	20
50代	12
60代	25
70代	11
80代	1

性別	人数
男	29
女	26
男女	45

平均滞在時間 (上下10%を除く)
0:31

エントランスウォールの通過	
右側	66
左側	34

展示室内の入室	
○	89
×	11

地域学芸員による解説	
○	40
×	60

コンテンツの凡例	
①	探検！バーチャル沖ノ島
②	VR
③	ハンズオンレプリカ
④	祭祀の変遷・年表
⑤	世界遺産解説パネル
⑥	景観マッピングビジョン
⑦	大型スクリーン
⑧	シアタールーム
⑨	特別展示室
⑩	常設展示
⑪	第二展示室
⑫	体験学習室

体験したコンテンツなど													
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	売店	トイレ
4	7	18	21	66	10	72	33	30	45	2	3	41	6

はじめに体験したコンテンツなど													
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	売店	トイレ
2	0	4	7	38	0	29	1	0	7	0	3	8	1

2番目に体験したコンテンツなど													
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	売店	トイレ
0	0	7	10	11	1	27	10	3	14	0	0	5	2

3番目に体験したコンテンツなど													
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	売店	トイレ
0	4	3	6	9	2	10	8	12	12	2	1	7	0

5 口コミ調査結果

(1) 各 WEB サイト別 口コミ評価と傾向

サイト名	平均評価 (5 点満点)	有効コメント数	傾向の概要
Googlemap	4.26	229 件	内容の充実度・無料・映像体験・丁寧なガイドに高評価が集中。
Tripadvisor	4.17	25 件	世界遺産の理解に有用。無料・丁寧なガイドに高評価。
4travel	4.33	11 件	宗像大社と併せた訪問が多く、全体的に高評価。
じゃらん	4.50	2 件	件数少ないがどちらも非常に高評価。

(2) コメント分析まとめ

● Googlemap

高評価：無料。分かりやすい映像や説明がある。親切なスタッフ（地域学芸員）がいる。

低評価：自由見学がしづらい。アクセスや名称が分かりにくい。

● Tripadvisor

高評価：無料。見ごたえがある。スタッフ（地域学芸員）が親切。

低評価：わざわざ行くほどではない。軽食のメニューが少ない。バスの本数が少ない。

● 4travel

高評価：無料。歴史的背景や宗像大社について理解できる。説明が親切。

低評価：正月三が日が休館で入れなかった。

● じゃらん

高評価：映像・展示の満足度が高い。

低評価：道の駅と混同する。

（３）総評（４ サイト総合）

高評価の共通点：

- ・ 無料とは思えない展示の充実度がある。
- ・ 宗像大社や沖ノ島などの歴史・信仰が理解できる。
- ・ VR・映像・体験などの分かりやすい展示がある。
- ・ 地域学芸員（ボランティアスタッフ）が丁寧に対応してくれる。

改善の余地がある点：

- ・ 展示の情報量が少ない、短時間で見終わる。
- ・ 地域学芸員（ボランティアスタッフ）の説明が過多。自由に見学できない。
- ・ 案内表示が不足し、アクセスが分かりづらい。
- ・ 軽食のメニューが少ない。
- ・ バスの本数が少ない。
- ・ 「道の駅むなかた」と混同してしまう。

（４） 口コミを受けた改善策

【展示等の物足りなさの解消】

現代につながる価値の説明を導入するとともに、見学ルートを提示することによって、展示の見落としを防ぐことによって、解消する。軽食メニューの改善について検討する。

【ガイドの柔軟化】

「ガイド付き／自由見学」の選択制の導入。静かに鑑賞したい来館者に配慮する。一方で、地域学芸員による親切な解説に対する高評価も多いことから、「おせっかいな博物館」を打ち出していくことも考えられる。

【表示案内の改善】

多言語表記の拡充（英・中・韓）＋見学ルートの提示をするとともに、駅や関連施設のアクセス情報などを提示する。

【アクセスの補完】

現在のバス停（宗像大社前）を、2026年3月にむなかた館前に移設予定。それを機にJR東郷駅からのアクセス案内やシャトル運行の検討。レンタサイクルの導入の検討などを進める。

【ブランディングの強化】

「世界遺産ガイダンス施設」であることや「地域学芸員による解説が聞けること」をより強く発信する必要がある。